

インターネットによる屈斜路湖の画像配信

https://www.masyuko.or.jp/livecamera/

摩周湖 | 検索



摩周湖で検索または、右のQRコードからWEBサイトにアクセスして、ウォータースポーツ交流公園やコタンなど屈斜路湖の状況を確認しましょう。

お問い合わせ先

北海道釧路総合振興局 TEL (0154) 43-9100

緊急時の連絡先

弟子屈消防署 TEL (015) 482-2073
 弟子屈消防署川湯支署 TEL (015) 483-2216
 弟子屈警察署 TEL (015) 482-2110

屈斜路湖適正利用連絡協議会

事務局:弟子屈町環境生活課 TEL (015) 482-2934

■携帯電話での119・110番通報は弟子屈消防署・北海道警察釧路方面本部に繋がり、そこで場所を特定してから管轄の消防署・警察署へ繋がるようになっておりますので、住所など正確に伝えて下さい。

無断で複製・複写・転載・ファイル化する事を禁じます。

動力船及び無動力船の利用受付場所

屈斜路ウォータースポーツ交流公園
 TEL (015) 484-2180
 FAX (015) 484-2180

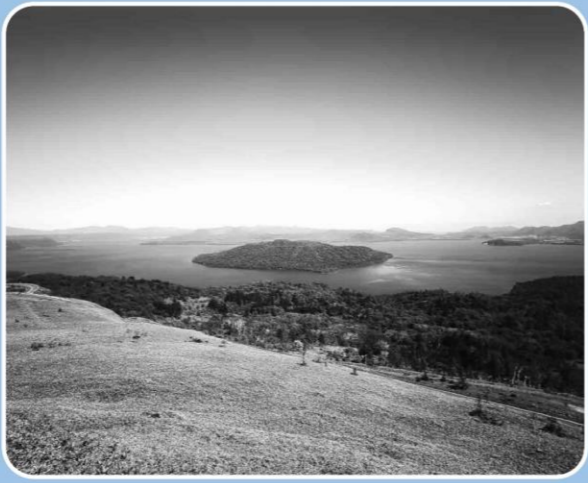
■開園時間：午前8：00～午後4：00
 ■利用期間：5月上旬～10月中旬
 ■休園日：利用期間中無休
 ※ただし、悪天候等により開園・休園することがあります。

■使用料：
 ○野外活動施設使用料（※利用には事前に登録が必要になります。）
 ●動力船 1日1艇につき 1,050円
 ※令和3年10月1日から動力船は、ご利用いただけません。
 ●無動力船 1日1艇につき 520円
 ○シャワールーム使用料
 ●1人1回（15分） 220円
 ○研修室使用料 午前 990円 ・ 午後 1,430円
 ○和室使用料 午前 440円 ・ 午後 770円

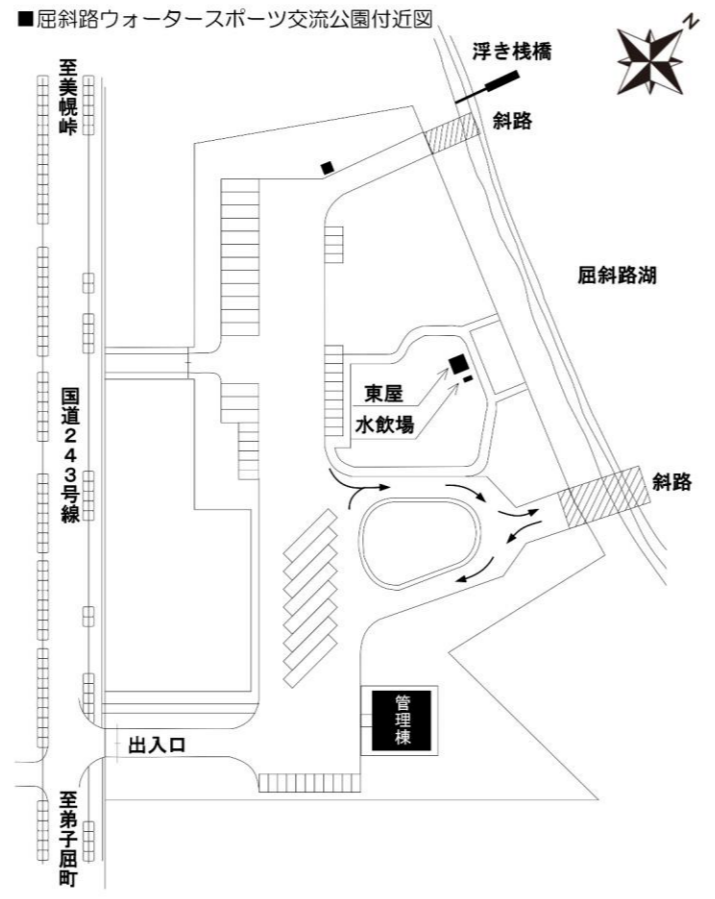
■園内利用の注意事項
 ①本施設は動力船・無動力船共用の発着場です。
 ※令和3年10月1日以降は無動力船のみの発着場となります。
 ②本施設周辺での遊泳を禁止します。
 ③本施設を利用し、お帰りの際は受付に報告をして下さい。
 ④暴力団構成員及び関係者の利用は、お断りします。
 ⑤桟橋は、救助艇などの緊急用です。
 ⑥大会などにより一般の利用が出来ない場合があります。
 ⑦園内での車輛の走行は、徐行して下さい。
 ⑧車輛は、決められた位置に駐車して下さい。
 ⑨園内で発生した事故の責任は、負いません。
 ⑩園内での宿泊を伴うキャンプや焚き火（直火）は禁止です。
 ⑪ごみは、お持ち帰り下さい。
 ⑫利用中は、係員（管理人等）の指示に従って下さい。
 ⑬その他、屈斜路湖を利用する上でのルールを遵守して下さい。

これらのルールが守られないようであれば、屈斜路ウォータースポーツ交流公園の利用をお断りします。

屈斜路湖利用のルール&安全マニュアル



屈斜路湖適正利用連絡協議会



屈斜路湖を利用する上でのルール

- 最大限の安全確保に努めて下さい。
- 屈斜路湖は、突風や独特の風向きの変化など気象条件により、湖面状況が予想できない場合がありますので、十分に注意し、状況悪化のおそれがあるときは、すみやかに上陸して下さい。
- 原生的な森林生態系等、貴重な自然環境の保全のため、中島への上陸は規制されていますので、上陸しないで下さい。
- オオハクチョウ等の野生動物を脅かさないよう、ご注意ください。
- 発生したゴミ等は各自の責任において持ち帰り、燃料・オイル等の投棄は絶対にして下さい。
- 水生植物の保全など屈斜路湖の自然環境に配慮して下さい。
- 冬季の氷上散策等については、湖岸近くでは地熱が高く薄氷となる箇所が点在していますので、ご注意ください。
- 住民、観光客、キャンプ場利用者などへの迷惑行為はしないで下さい。
- 船舶探検者は海上法規など関係法令を厳守して下さい。
- 陸上での船舶エンジン始動、空ぶかし等は絶対しないで下さい。
- 消音機（マフラー）等を違法改造した動力船の利用は禁止です。
- 離岸・着岸については、テッドスロー（微速）で航行して下さい。
- 動力船は、午前8時以前・午後5時以降の航行は自粛して下さい。
- 一時的に着岸する場合は、遊泳者等周囲の状況に十分注意して下さい。
- 動力船の利用には、立入禁止区域と航行禁止水域、自粛水域が設定されています。裏面の屈斜路湖ナンバリングマップ・動力船航行水域図を確認して下さい。
- 船舶の公共発着場は、屈斜路ウォータースポーツ交流公園です。

自然公園法に基づき令和3年10月1日から屈斜路湖での動力船[※]の使用が禁止になります

- 〔※ゴムボートにエンジンを搭載したものや電気を動力とするもの〕なども禁止対象です
- 違反した場合は、6ヶ月以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられます
 - 禁止期間：毎年4月1日～12月31日（令和3年のみ10月1日から）

屈斜路湖水難事故事例

No.	発生年月日	事故者	行為	事故概要
1	S58. 7. 30	男	営業中	モーターボートから転落溺死
2	S58. 8. 5	男	遊泳中	遊泳中行為不明
3	S63. 5. 27	29歳男	舟遊中	カヌー転落溺死と推測
4	S63. 8. 7	15歳男	舟遊中	ボートから転落溺死
5	H 1. 7. 9	32歳男	救出中	子供のボートが流され救出中に溺死
6	H 1. 8. 3	24歳男	舟遊中	水上スキーを牽引したモーターボートが遊泳中の高校生を跳ね、右大腿部骨折3ヶ月の怪我を負わせた
7	H 3. 5. 4	19歳男	舟遊中	カヌー転落溺死
8	H 3. 6. 16	22歳女	競技中	マリッジジェット競技中に接触し負傷
9	H 3. 8. 7	18歳男	遊泳中	遊泳中に溺死
10	H 3. 9. 15	29歳男	舟遊中	ウィンドサーフィンで舟遊中に溺死
11	H 8. 5. 26	27歳男	舟遊中	マリッジジェットで舟遊中に溺死
12	H 8. 8. 14	26歳男	舟遊中	夜間、水上バイク燃料等切れで岸まで泳ぎ疲労死
13	H10. 9. 13	33歳男	舟遊中	マリッジジェットで舟遊中に溺死
14	H11. 10. 10	42歳女・9歳男 13歳男・10歳男	舟遊中	カヌーで中島へ向かい、強風で帰れない
15	H12. 7. 5	30歳男	釣り中	釣りが深みにはまる
16	H13. 7. 18	33歳男	舟遊中	流されたボートを戻そうとし行為不明（現在も不明）
17	H14. 8. 18	30歳男	舟遊中 競技中	プレジャーボートと水上バイクの衝突事故
18	H15. 6. 4	27歳女・66歳男	釣り中	カヌー2隻が狂風に煽られ転覆死亡
19	H24. 4. 26	38歳男	釣り中	釣りが深みにはまる
20	H28. 6. 16	76歳男	釣り中	小型ボートで沖に出て強風で戻れず翌日中島で発見、救助される
21	H29. 6. 18	29歳男	周遊中	カヌーで沖合へ向かい強風で戻れず、翌日碇石浜付近で発見、救助される
22	H30. 7. 30	49歳男・25歳男 16歳男	周遊中	ウエイクボードのロープが水上バイクに絡まり航行できなくなり、2時間後沖で救助される。
23	R 1. 9. 5	61歳男・49歳女	周遊中	サップボードが強風で戻れず*
24	R 1. 11. 22	66歳男・40歳男 38歳男	周遊中	カヌー転落、100m沖合で救助される
25	R 2. 7. 6	55歳男・41歳女	周遊中	水上バイクのエンジントラブルで戻れず*
26	R 2. 7. 24	41歳男	周遊中	水上バイクに牽引されるバナナボートが飛び跳ねた拍子に落下し、水面に体を打ち付ける
27	R 2. 8. 14	36歳男・13歳男	周遊中	カヤックが戻れなくなり、他の湖水利用者に救助される

屈斜路湖の概要

屈斜路湖は、屈斜路カルデラに横たわる東西26km南北23kmの楕円形のカルデラ湖で、カルデラ湖としては日本で最大、湖としては日本で6番目の大きさです。湖面の標高は121m、面積は79.6平方km、周囲は57kmで、水深は最大で117.5m、平均で28.4m、透明度は6.0mです。中央にある直径2.8kmの中島は、標高が355.2mの円形の火山島です。湖の周りには、藻琴山やコトヌブリ、美貌峠などの外輪山がそびえ、湖岸には20数本の小河川が流入し東南岸からは釧路川の源流として湖水が流れ出ています。冬は全面結氷しますが、湖岸近くに点在する地熱の高いところは氷結しないためオオハクチョウの飛来地にもなっています。屈斜路湖は阿寒摩周国立公園の第1種特別地域に指定されているほか、和琴半島を発生地とするミンミンゼミは国の天然記念物に指定され、マリゴケは弟子屈町の天然記念物に指定されるなど、貴重な自然の宝庫となっています。

区分	面積	標高	周囲	最大水深	平均水深	透明度
屈斜路湖	79.6平方km	121m	57km	117.5m	28.4m	6.0m
中島	5.7平方km	355.2m	12km			

参考資料：「理科年表平成30年版」、「阿寒国立公園自然解説マニュアル」、「摩周の郷ガイド」ほか。

屈斜路湖適正利用連絡協議会 構成員名簿

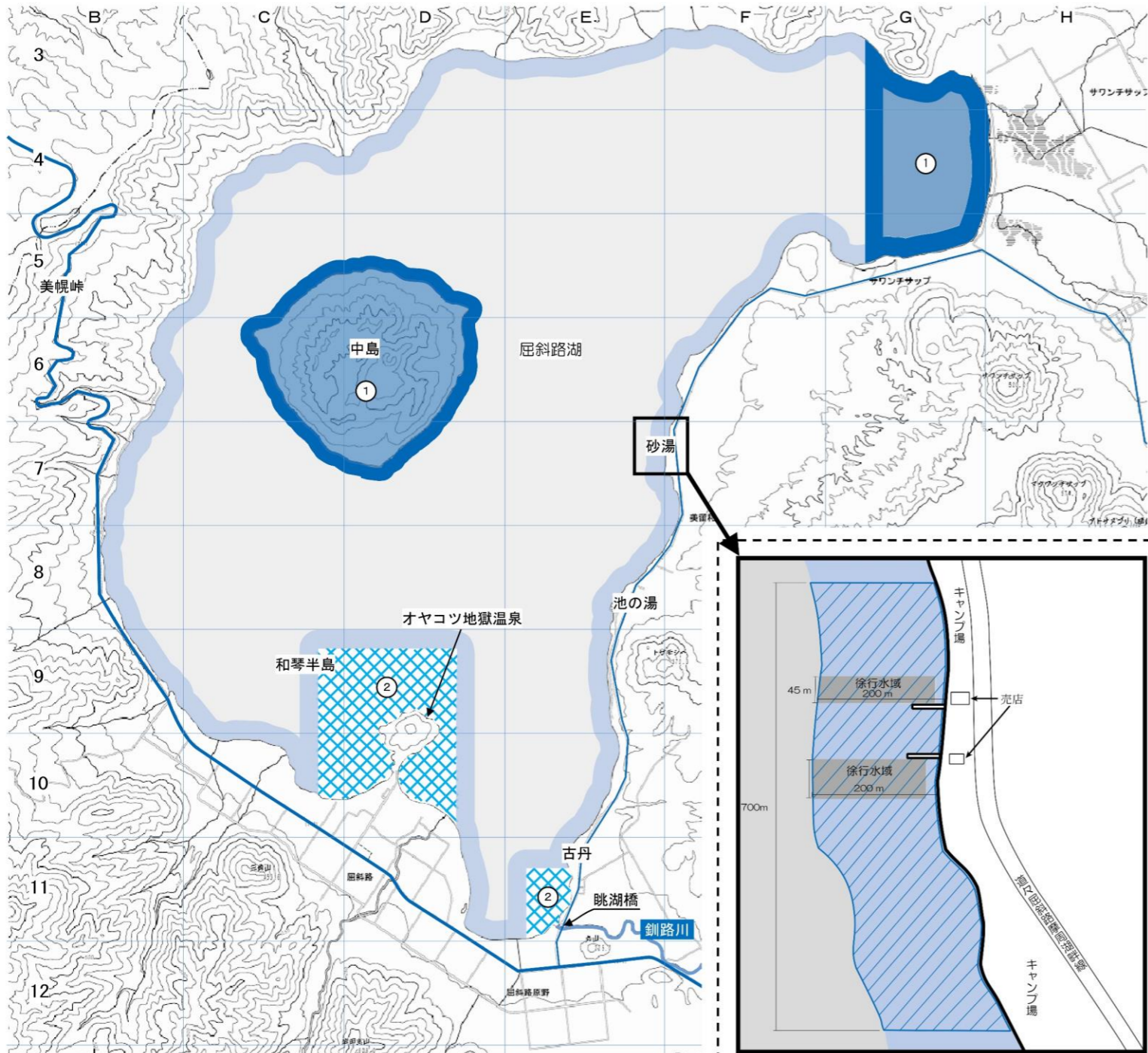
- 弟子屈町長
- 環境省 阿寒摩周国立公園管理事務所長
- 北海道釧路総合振興局 保健環境部環境生活課長
- 北海道釧路総合振興局 地域創生部地域政策課長
- 北海道釧路総合振興局 釧路建設管理部弟子屈出張所長
- 弟子屈警察署長
- 根釧西部森林管理署長
- 弟子屈消防署長
- 釧路北部消防事務組合長
- 一般財団法人自然公園財団川湯支部所長
- 万代観光株式会社代表取締役
- 森商店代表
- 屈斜路プリンスホテル支配人
- 和琴半島民営湖畔キャンプ場代表
- 弟子屈セーリング協会会長
- 釧路水上スキークラブ会長
- 一般社団法人摩周湖観光協会会長
- PW安全協会道東支部長
- 釧路川源流域ネットワーク会長
- KFC（屈斜路フィッシングクラブ）会長
- 屈斜路自治会長
- 丸木舟代表
- てしかがえこまち推進協議会エコツーリズム推進部会長

オブザーバー：北海道運輸局 釧路運輸支局 船舶・船員課

屈斜路湖ナンバリングマップ・動力船航行水域図

■自分の位置を確認するとともに、緊急時の通報にご利用ください。

■ナンバリングマップのご利用方法「列（アルファベット）」の「行（数字）」 → 「D」の「9」 ⇒ 和琴半島北部付近



① 立入及び周辺の航行禁止 ② 航行禁止水域 自粛水域 動力船航行水域

乗入禁止水域(水域利用調整区域) ※7月中旬～8月中旬
自粛水域 徐行水域 航行水域

入禁止区域、航行禁止水域などの規制エリアを順守してください

- ①中島、仁伏より東側の水域は貴重な自然環境の保全のため立入及び周辺の航行を禁止します
 - ②古丹～釧路川源流付近、和琴半島周辺はカヌー利用者が多いため、動力船航行は禁止します
- ※離岸、着岸時など湖岸から沖合200mは自粛水域です。 デッドスロー（徐行）を徹底し、住民や観光客の迷惑となる行為や危険な行為は絶対しないでください

令和3年10月1日から屈斜路湖での動力船の利用は禁止です

屈斜路湖フィッシングルール＆マナー

屈斜路湖は阿寒摩周国立公園の希少な大自然の中でのスポーツフィッシングを楽しみに、全国各地から多くの釣り人が訪れるフィールドです。しかし、魚の資源量は決して多くはありません。町では、釣りを楽しんだ後は魚を再び湖に戻す『キャッチ＆リリース』を推奨しています。★詳しくは、別冊「屈斜路湖フィッシングルール＆マナー」をご覧ください★

屈斜路湖を利用前のチェックポイント

- 無理のない利用計画を立てる
 - 利用水域を「屈斜路湖ナンバリングマップ・動力船航行水域図」により確認していますか？
 - 屈斜路湖を利用する上でのルールを確認していますか？
 - 地形、水深などの確認は十分ですか？
 - グループで行動する計画ですか？

- 気象情報を入力する
 - 最新の気象情報は入手していますか？
 - ▼スマートフォンなどのアプリやインターネットから気象情報を入力する。
 - ▼ラジオやテレビなどから気象情報を入力する。
 - ▼177天気予報サービスから気象情報を入力する。
 - 気象庁発表の最新情報は …… ☎ 177
 - 釧路地方の情報は …… ☎ 0154-177
 - 網走地方の情報は …… ☎ 0154-177

- 観天望気に心掛けていますか？
観天望気とは、その地方の環境や気象の変化の特徴を踏まえた独自の気象観測方法で、雲、風、気温などの状況から、これまでの経験を基に天気の変化を予測するものです。観天望気はそれぞれの地方・地域毎に違います。その地方の観天望気に詳しい人などから十分な知識を得ておけば、気象情報が得られない時など短期間の予測には、大変有効です。
屈斜路湖は地方の天気予報とは違った、特有の気象状態となるので要注意！
- 天候悪化が予想され、利用を中止する必要はありませんか？

- 湖の状態を把握する
 - 湖面の状態に注意していますか？
 - ▼湖面が穏やかな時、遠くからゆっくりとしたローリング波が来たら、30分から1時間後に強い風による大きな波が来ると言われているので、避難に心掛けること！1mから2mの大波が来ることもあります。
 - ▼湖面が鏡のような状態になると、その後、強い風が吹くことが予想されるので要注意！
 - ▼水鳥の群れが急に飛び立つと、その後、飛び立った方向から強い風が吹くことがあり要注意！
 - 屈斜路湖は、温泉の湧出が点在しているため次の点に注意していますか？
 - ▼水域によっては、10℃以上の温度差があるので游泳には要注意！
 - ▼冬場の水丘脈※が出来る箇所は、薄氷となっている箇所があるため要注意！ ※諏訪湖の御神渡りと同様の水隆起現象

- 体調に気をつける
 - 体調不良、薬の影響により正常な操船ができないおそれはありませんか？

- 法定書類・法定備品や装備の積み込み、服装の確認
 - カナディアンカヌーで釣りをする場合、アウトリガーを装着していますか？
 - カヌーにエアバッグ（浮力体）が装備されていますか？
 - 操縦免許証や船舶検査証書の有効期間は過ぎていませんか？
 - 操縦免許証、船舶検査証書・検査手帳などの法定書類は忘れていませんか？
 - 船舶検査済票は正しく貼られていますか？
 - 救命胴衣、時計、笛などの法定備品は忘れていませんか？
 - 乗船者数が、最大とう乗員数を超過していませんか？
 - 乗船者は、全員救命胴衣を着用していますか？
 - 季節や場所にあった服装、保護具（ウェットスーツ等）を着用していますか？

- 連絡体制を確保する
 - 無動力船は陸上に見張りを確保していますか？
 - 家族等に屈斜路湖の利用について連絡しましたか？
 - 家族等との連絡手段は、確保されていますか？
 - 緊急連絡手段を確保していますか？
(携帯電話、陸上に見張り、緊急連絡員の配置、無線機の携行など)
※屈斜路湖の大部分は、通話圏外のため連絡手段を確保しましょう。

- 船体・機関等を点検する
 - 船体等に異常はありませんか？
 - 燃料は十分に入っていますか？
 - バッテリーの状態は良好ですか？
 - 機関等始動前、整備は十分ですか？
 - 機関等始動後、異常はありませんか？

仲間が水中に転落した場合

- 不幸にも仲間が水中に転落・漂流した場合は、直ちに次のことをして下さい。
- ①万一、救命胴衣を着用していない場合には、早急に浮力を維持できる物品等を投入します。漂流者がロープ等で身体を浮体に固縛できるよう、可能な限り浮力が大きくロープ等を装着しているものにしましょう。
 - ②漂流者の位置及び状況を把握する。このとき、漂流者が使用する浮体とは別に、目印となる浮体を投入すると漂流者を見失いにくくなります。

屈斜路湖を利用中のチェックポイント

- 湖や周りの状況を把握する
 - 他の船舶の動き、遊泳中の人等に注意していますか？
 - 水上・水中の障害物に注意していますか？
 - 自船の位置を確認していますか？
 - 行動不明の接近船に対しては、早期に注意喚起を行っていますか？

- 屈斜路湖利用のルールを守る
 - 遊泳者や釣り人の近くで航行していませんか？
 - 人家の近くで航行していませんか？
 - 暴走や見せびらかし行為をしていませんか？
 - 大きな死角のある大型船に近づきすぎていませんか？
 - 動力船航行禁止水域・自粛水域・利用時間を守っていますか？
 - 工事・作業が行われている水域に入っていないですか？

- 船体・機関等に注意する
 - 船体や機関等に異常はありませんか？

- 気象や湖の状態変化に注意する
 - 屈斜路湖は、突風や独特の風向きの変化といった、気象現象がおこります。十分に注意し悪化の恐れがあるときは、すみやかに上陸するよう心掛けていますか？
 - 気象の変化に注意していますか？
 - 湖の状態変化に注意していますか？
 - 他の湖水利用者や情報交換はしていますか？
 - 荒天などにより計画を変更したときは、航行前に連絡した所に計画変更の連絡をしましたか？

屈斜路湖を利用後のチェックポイント

- 着岸・係留
 - 適切な係留場所に係留していますか？
 - 係留方法は、他の船舶の迷惑になりませんか？
 - 流出したり、他の船舶に接触しないようしっかりと係留しましたか？

- 着艇報告
 - 航行前に連絡した所に、着艇報告しましたか？

水難事故に遭遇した場合

事故が発生したら、直ちに人命の救助を行うと共に、消防署、警察署などに以下の要領で分かっている項目から正確に連絡して下さい。

- ①通報者の名前
- ②場所はどこか（屈斜路湖ナンバリングマップを利用）
- ③どのような水難か
- ④どのような船に何人乗っているか
- ⑤ケガ人の数・状況及び取っている措置
- ⑥船舶の状況及び取っている措置

救助を求める手段として、携帯電話を使用することは言うまでもありませんが、屈斜路湖の大部分は携帯電話の通話圏外ですので、陸上に見張りや緊急連絡員の配置、無線機の携行等の緊急連絡手段を確保して下さい。

事故発生に備え、救命信号類を船内に備え付けておき、使用方法を確認しておくことも大切です。

事故が発生した際に、使いやすい避難信号は、

- ①落下傘のついた赤色の炎火ロケット又は赤色の手持ち炎火による信号
- ②オレンジ色の煙を発生する発煙信号
- ③左右に伸ばした腕を繰り返しゆっくり上下させる信号
- ④笛の吹鳴や懐中電灯等によるSOS信号

この他に、大声を出す、バケツ等を叩いて大きな音を出す、衣類を振るなどあらゆる手段を使って、早く周りの人に知らせる工夫をしましょう。

付近で事故が発生した時などに応急的な救助活動ができるように日頃から訓練しておくとともに、周囲の人にこれらの避難信号を覚えておくことも大切です。

自分が水中に転落した場合

- ①ライフジャケットを着用していればすぐに沈むことはありません。まずは、落ちていて自分の状況を把握することが重要です。
- ②付近に船舶を発見することができなくても、必ず助かるとの信念を持って救助を待ちます。焦れば焦るほど体力を消耗するのでゆっくりと構えましょう。
- ③水中で運動すればするほど体熱が奪われエネルギーのロスになります。可能な限りじっとして保温に努めましょう。
HELP (Heat Escape Lessening Posture) (熱放出低減姿勢) をとりましょう。
- ④付近に岩場等がある場合、波が穏やかであれば、そのまま岩場の上陸して下さい。しかし、磯波等があり危険な場合は、逆に沖に向かって移動しましょう。

